

DSアースパイプシステム 施工手順

大阪電具株式会社
兵庫県宝塚市安倉西3丁目8-14
TEL. 0797-87-2345

DSパイプアースシステム施工手順

	作業手順	注意事項
1	<p>前準備 ●規定深度に(φ500×750)の掘削穴を掘る。</p>  <p style="text-align: center;">掘削穴の様子</p>	
2	<p>一本目打ち込み用意 ●ブレイクアローとスラストパイプを繋いで、掘削穴の中心部に差し込む。</p>  <p style="text-align: center;">ブレイクアローを装着したスラストパイプ</p>	<p>ブレイクアローを装着の際、落下させないようにご注意ください。</p>
3	<p>1本目打ち込み ●打ち込み工具をスラストパイプに装着し、30cm前後打ち込みます。</p>  <p style="text-align: center;">打ち込みの様子</p>	<p>打設棒には電動工具用と油圧工具用があります。お手持ちの工具に合わせてご使用ください。</p> <p>ホルダービットはあらかじめ打設アダプタに装着しておいてください。</p> <p>打ち込み後はホルダービット・打設アダプタ・打設棒は一体化します。</p>  <p style="text-align: center;">一体化した様子</p>

	作業手順	注意事項
4	<p>低減剤注入</p> <p>●スラストパイプを30cm前後込んだ後、上端より低減剤を注入してスラストパイプの側面から低減剤が出てくることを確認します。</p>  <p>低減剤注入の様子</p>  <p>低減剤流出の様子。</p>	<p>低減剤は、よく振ってからご使用ください。</p>
5	<p>1本目打ち込み終了</p> <p>●スラストパイプの上部が少し見える程度で打ち込みを終えて下さい。一本目のスラストパイプの打ち込み終了。</p>  <p>1本目打ち込み終了</p>	<p>スラストパイプを打込むことで、パイプ内の低減剤が少量ずつブレイクアローに設けられた穴より流出します。</p> <p>この部分に低減剤が確認できない場合はスラストパイプの周りからも低減剤を投入してください。</p>  <p>このあたりに低減剤を投入してください。</p>

	作業手順	注意事項
6	<p>二本目打ち込み</p> <p>●一本目を打ち終わった段階で接地抵抗値が規定値に達しない場合は、一本目のスラストパイプに二本目のスラストパイプを接続します。</p>  <p style="text-align: center;">連結の様子</p>	<p>二本目以降の低減剤(ピージェル)注入量の目安は1本当たり0.6～0.7リットル(1袋で約2本分)です。</p>
7	<p>連結にて打ち込み</p> <p>●以下同様の手順で接地抵抗値が規定値に達するまで、三本目・四本目とスラストパイプを連結してください。</p>	<p>ブレイクアローでも貫通できないような岩盤で、打込み不能となった場合は、スラストパイプを切断してください。切断部にピン端子を接続できます。</p>
8	<p>合成の場合</p> <p>●一箇所で規定値の取得が困難場合は、2m以上の極間隔で並列式に施工してください。</p>	
9	<p>接地線の接続</p> <p>●規定値に達しましたら、規定深度でリード線をピン端子にて接続します。</p>  <p style="text-align: center;">ピン端子取付後</p>	
10	<p>復旧</p> <p>●埋め戻し復旧を行います。</p>	